

長野 SDGs プロジェクト実行委員会

Innovation from teenagers 私たちの提言

提言	ジェンダー差別を減らそう。
この提言を考えた理由 1 私たちは現状をこうとらえる 2 このようになってほしいと願っている 3 だから、こんな活動をすればよいと思ひ、こう提言する。	男女ともに生きづらい生活をしている人たちのために少しでも生きづらくない生活を送ってほしいと思った。 海外に限らず、日本でも男女差別が行われている。 例として男性だからスーツを着なさい 女性だからスカートをはきなさい。 私たちはこんなルールはないと考える。 日本でも時々男女差別で苦しんでいる人達の CM をみます。 見た目が女性だからって心まで女性とは限らないし 見た目が男性だからって心まで男性とは限らないです。 その時私がみた CM は会社の面接でどちらの性別で面接を受けるべきか悩んでいるものでした。 このようなつらい思いをしてしまう人がいる 理由としてジェンダーというものが世間的に知られていないこと だと思う。だからジェンダーを知ってもらうために、スターでこの ようなひとたちのことを知ってもらう活動をする。 提言として、男女別に大きなくくりをするのは間違っている。 と言いたい。 ジェンダー差別というものは男女差別ではありません。 女性にこんな仕事は任せられない。女なんかこんな重要な役目は 果たせないだの、昔からある女性差別のことも指します。 今もある差別として女性は大統領になれない。女性は家で育児。な どです。今あげた例はそれが普通なんじゃないの？と言われるよう な内容です。ですがそれを普通と思ってはいけないと思うのです。 ジェンダー差別をなくすためにこの二つのことに共通して言える こととして、【これが当たり前】と自分の考えを人に押し付けては いけないということです。

<p>4 提言に関係して、自分たちも、できるこんな活動をしたい。</p>	<p>私たちが今からできる活動として、このありもしない【当たり前】をしないことです。 +ポスターなので多くの人に知ってもらうことができればジェンダーの方々が少しだけでも生きやすくなるのではないかと考えます。</p>		
<p>提案者</p>	<p>学校名</p>	<p>白馬村立白馬中学校</p>	
<p>学年</p>	<p>3 学年</p>		
<p>グループ名</p>	<p>5 ジェンダー平等をを現実に</p>		
<p>メンバー</p>	<p>武田 憧斗</p>	<p>小池 晴斗</p>	<p>澤渡 慎一郎</p>
	<p>宮田 珠和</p>	<p>片岡 実来</p>	<p>秋山 舞衣</p>